



Try! up!

Vol. 31 [2018年4月20日発行]

新年度にあたって



学校長
大谷 哲夫

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

本校は東北福祉大学仙台駅東口キャンパスにあり、通学の利便性は抜群です。このキャンパスの3・4階に皆さんが活用する教室や図書室等があり、学習環境が整えられています。又、1・2階にはTFUギャラリーミニモリ(仙台市、河北新報社、東北福祉大学連携協定)が開設され、本格的な展覧会施設として、年間を通して多様で質の高い催事が開催されています。学業以外の文化的環境としても整備されたキャンパスとなっています。

さて、看護という仕事は、人々の健康と暮らしに関わることであり、その人を取り巻く社会の影響が大きい事は言うまでもありません。現在、わが国ではこれまでの治療を中心とした「医療モデル」から疾病や障害があっても、地域の住まいで自立をしてその人らしく暮らすことを支える「生活モデル」に移行してきています。そこで、保健・医療・福祉領域に働く看護師には医療・看護に関する「専門的な知識」、意思決定する為の「判断・決断力」とあらゆる場で看護を「実践する力」が求められています。本校の建学の精神『行学一如』とは、皆さんの臨床経験が、本校で学習する理論と融合して、看護実践力として修得することにあります。この精神を受け継ぎ、充実した学生生活となりますように祈念しております。



副校長
大場 信子

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

通信制の学校では、登校日が少ない分、毎日自宅での学習時間を確保し、自分でわかるまで学習を続けることが基本になりますが、「臨床現場で就業した7年」を“自分の強み”とし、これまでの経験を裏付けしながら進める学習を心がけてください。自宅での学習が多くなる時期には、孤独や不安を感じることもあると思いますが、共に学ぶ仲間と声を掛け合い励まし合って頑張ってもらいたいと思います。学校では、皆さんの力になれるサポート体制をつくっています。「看護師になる」という明確な目標(覚悟)を胸に、面接授業・レポート課題の学習に取り組んでいきましょう。

2年生は、6領域の臨地実習が始まります。どの領域においても、紙上事例演習で看護の展開方法を学び、病院等見学実習では看護場面の見学を通して、看護師の意図的な関わりから看護者としての思考過程や看護の提供のあり方を学び、自らの看護実践に関する考察を深めることとなります。この臨地実習で学習する「看護に必要な知識と技術の習得」は、看護師には不可欠な内容です。

皆さんの目的は、卒業と共に国家試験に合格し、看護師免許を取得することにあります。学校の学習に忙しくて国家試験の受験勉強が出来ないという事はあり得ません。学校で学習するすべてのことが国家試験に繋がっている事を認識して取り組んでいきましょう。

卒業おめでとうございます!

学びを自信に、進む新たな一歩



本校では、卒業式の挙行に先立ち、卒業式前日に「看護の専門職業人としての自覚や決意を新たにすること」を目的に、その時々が必要とされるテーマで記念講演を行っています。今回は、せんだんホスピタルの浅野弘毅名誉院長から『メンタルヘルスのすすめ』という演題で家庭や職場における心のありようをについてお話しをいただき、続いて宮城県看護協会の佃祥子会長から看護行政の動向を中心に『看護をつなぐ』という演題でご講演いただきました。卒業を目前に、看護の専門職業人としての身の引き締まる時間となりました。

Memorial lecture

翌3月15日(木)、平成29年度卒業式が東北福祉大学仙台駅東口キャンパスで挙行され、9回生152人が晴れの日を迎えました。

開式、国歌斉唱に続き卒業証書授与。大谷哲夫学校長から、学生総代の東久美子さんに卒業証書が手渡されました。続いて、学業成績優秀者の表彰。学校長賞には東久美子さん、努力賞には菊地久美子さんと佐々木郁子さんが、その功績を称えられ表彰状と記念品が贈られました。学校長の式辞では、これまでの頑張りを労い、本校で学んだ『行学一如』の精神を胸に、人の命を真から考えて寄り添ってほしいとのお話しをいただきました。また、変わりゆく社会情勢の中で、看護師として果たすべき使命を自覚しながら確かな歩みを進めていってほしいと激励の言葉をいただきました。

その後、放送大学宮城学習センターの大淵憲一所長、宮城県看護協会の佃祥子会長から温かい祝辞をいただき、卒業生を代表して高室麻美さんが謝辞を述べました。家庭や仕事との両立など、さまざまな壁を乗り越えて学びを深め続けた2年間…。卒業生や教員の胸に去来する思いもひとしおの様子でした。

式終了後には、2グループに分かれて一人ひとりへの卒業証書授与。大場副校長・小野寺教務主任から自分の卒業証書を受け取ります。手にした卒業証書を見つめる表情は皆、達成感に満ちていて、過日の学びの日々を思い返しているようでした。



Graduation ceremony

卒業式終了後は、6階の会場に場所を移し『卒業祝賀会』が行われました。菅原先生の司会により、大場副校長の挨拶と中里先生の乾杯で会はスタート。いつもはなかなか会うことのできない仲間や先生方と、談笑したり、写真を撮りあったり…卒業式とは打って変わってリラックスムードとなりました。

会の中ほどには、各県や地域単位での時間もあり、それぞれに、2年間の想いを語ったり、踊ったり…。皆さんの表情には、これまでの苦勞から解放された喜びがあふれていました。

終盤には、教員一人ひとりからの激励の言葉も。特に今年本校を退職される白井先生、村島先生からのお話では、学生生活2年間の思い出やこれからの夢など、さまざまな想いがあふれ、涙する卒業生も多くみられました。

2時間近くの祝賀会も小野寺教務主任からの激励の言葉で閉会。卒業生は仲間との別れを惜しみながら会場を後にしました。

Celebration



第107回看護師国家試験の報告

第107回看護師国家試験の状況

平成30年2月18日(日)、第107回看護師国家試験が実施され、厚生労働省より3月26日(月)に合格発表がされました。
結果は右記のとおりです。

	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)
1. 全学校	64,488(62,534)	58,682 (55,367)	91.0 (88.5)
2. 通信制(全27校)	4,537 (4,765)	2,775 (2,654)	61.2 (55.7)
3. 本校(全体)	244 (254)	162 (159)	66.6 (62.6)

* ()は昨年の実績

① 合格率について

全学校の合格率は91.0%で、昨年と比べて25%増加しました。通信制の全学校の合格率は61.2%で、昨年と比べて5.5%増加しました。本校は66.6%と通信制の全学校の合格率を5.4%上回りました。

② 合格基準について

【必修問題】

39点以上 / 48点満点

ただし、必修問題では、採点除外等の取扱いをした問題が8問ありました。問題としては適切であるが、必修問題としては妥当ではないとの理由です。

必修問題の一部を採点対象から除外された受験者の得点は以下のとおりでした。

38点以上/47点、37点以上/46点、36点以上/45点、
36点以上/44点、35点以上/43点又は34点以上/42点とする。

【一般問題及び状況設定問題】

154点以上 / 247点満点(62.3%以上の得点)

昨年是一般問題及び状況設定問題は、142点以上(57.3%以上の得点)でしたので、基準が上がりました。採点除外等の取扱いをした問題が一般問題で1問、状況設定問題で1問ありました。

③ 出題内容等について

第105・106回国家試験の得点は低い結果でしたが、第107回国家試験は過去の平均的な得点になりました。出題の難易度が過去の平均的なところになったと言えます。

◇出題形式では、近年5肢択一、5肢択二問題が出題されています。第107回国家試験では非選択式形式(計算問題)の出題数は2問でした。

◇写真などの視覚教材を使った出題数は16問と今回は増加しました。これは、実践に即した出題内容の増加と考えられます。

◇社会保障に関連した出題が増加しています。

◇早期退院支援と福祉・介護との連携、在宅における社会資源の利用や他職種との連携などについての法整備を問う問題が増加しています。

◇病態や法整備を根拠にしたアセスメントを問う問題の増加が見られます。

本校の結果および今後に向けて

本校の合格率について

通信制の全学校の新卒の合格率は81.6%で本校は82.8%と1.2%上回り、通信制の全学校の既卒の合格率は33.0%で本校は40.2%と7.2%上回りました。

今後に向けて

【1】「人体の構造と機能」は土台となるので、代表的な疾患等について「人体の構造と機能」の基礎的な事項を確実に理解し、原因と予後・合併症等について、知識を関連づける学習が必要です。

【2】図・表・写真・検査データ等の多くの情報の中から必要な情報を探し出し、アセスメントすることが必要になります。

国試受験後のデータ分析結果 (東京アカデミーによる)等について

全国平均との比較で本校の得点率が低いのは「一般問題」全般でした。その中でも得点率が低いのは「人体の構造と機能」「成人看護学」でした。

【3】医療施設における病気治療や健康回復の学習に加えて、地域での慢性疾患の在宅療養と社会資源の利用など社会保障(法的根拠等)についての学習が重要になります。

日々の学習の中で基礎的知識を確実にし、根拠に基づいたアセスメントや計画立案ができるように、積み重ねていきましょう。

第108回看護師国家試験の合格につながるように学校側も支援します。

国家試験対策講座に参加し、模擬試験を受験して実力を確実にしていくことが大切です。

国家試験対策
倉林 恵子 先生



辻本 京子 さん
(50代・訪問看護・神奈川県)

何をしても「勉強しなくちゃ…」と落ち着かなかった2年間。私は、気持ちの切り替えがうまくできず、いつも焦りと不安の中で学生生活を過ごしてきました。

国家試験を終えて、「合格」の手ごたえを感じられないままに迎えた合格発表当日。自分の受験番号を見つけた時は、胸がぎゅーっと締め付けられるような大きな喜びを感じましたね。

本校へ入学する前は、准看護師として「指示通りに処置をすること」が当たり前だと思っていました。同僚の看護師たちが患者さん一人ひとりの背景や体の状態に合わせて対応している姿に「なぜそうする必要があるのか？」と、疑問すら感じることもありましたが、しかし、本校での学びを通して、患者さんの個性に目を向けて、自分でその状況を判断しながら看護を提供することが重要だと感じるようになりました。

これからは、「看護師」として2年間の学びを看護の現場で実践していきたいと思っています。



涌泉 由香 さん
(30代・クリニック勤務・宮城県)

入学してからの2年間で振り返ると、睡眠時間を削り、机に向かい続ける必死の毎日でした。平日は仕事と家事に追われ、休日は子どもの習い事の送迎に付き添い。まとまった学習時間が取れなかったため、朝や夕方、職場の休憩など隙間時間を見つけては、スマートフォンのアプリを活用するなど少しの時間でも大切にしてきました。

忙しい日々で心が折れそうになる時もありましたが、乗り越えられたのは子どもの存在があったからこそ。子どもが習い事を一生懸命頑張っている姿を見て、「あの子ども頑張っているのだから私も負けてられない！」と自分を奮い立たせられました。また、試験日が近づき不安だった頃、私よりも先に中学受験を控えていた子どもの、「ママは今回が駄目でも次また頑張ればいいよ。だから大丈夫だよ。」と優しい言葉に勇気づけられました。私をいつも励ましてくれていた子どもと共に合格をつかむことができ本当に嬉しかったです。

周りに支えられ頑張り続けられた学校生活。知識や資格を得るだけでなく、命を扱う『看護』という仕事だからこそ勉強し続けていく大切さを学び得ることができました。これからもこの気持ちを忘れずに看護師として頑張っていきたいと思っています。

平成30年度
スタート!

第1回面接授業 『人間基礎論』より



4月7日(土)、いよいよ11回生の面接授業がスタートしました。

本校の建学の精神である『行学一如』に基づき、看護の概論や法制度と倫理など、看護の基礎的な事柄を学びます。

初日の冒頭には、大谷哲夫学校長の挨拶がありました。高齢化社会を迎え、看護師への期待はますます大きくなっている。

人々の健康な生活の実現に貢献する責務を果たすため、さらなる知識や技術を本校でしっかり学んでほしいと、これから始まる学生生活への心構えをお話しされました。



また、仕事や家庭を持ちながら、学業を継続することは多くの困難に立ち向かうことになる。迷ったり悩んだりしたときには、共に学ぶ仲間、職場の方々や家族、そして本校の教職員がいることを忘れないでほしい。周囲のサポートを受けて、必ず合格するという強い意志を持っていればやり遂げられる。「自分は今何をすべきか?」「この時代をどう生きるか?」を明白にもてる幸せを感じながら、本校で学ぶことに自信を持ち、真の意味の「看護」を実践できる素晴らしい看護師を目指してほしいと期待を込めたエールをいただきました。

新入生の声

Freshman!



柴崎 雅人 さん
(20代・病院勤務・山形県)

高校時代、男性の先輩に看護師として働く方がいて職場の話聞くことが多い環境でした。将来を考え始めた時期にたまたま今の職場での職場体験に参加し、「こんな風に人のために働くのもいいな」と考えるように。その時からいつかは看護師になると決めていました。

准看護師として働き始めて5年が過ぎた頃、早速放送大学での先行学習をスタート。今年、実務経験7年以上の入学基準を満たすことができ、念願の入学となりました。

第1回目の面接授業を終えたばかりですが、さまざまな現場で働いている同級生と受ける授業では、いい刺激をたくさん得られています。特にグループワークでは今まで分かったつもりで仕事をしてきたかもしれないと感じる場面もあり、あらためて基礎からしっかりと学びを深めようと思っています。

この先大変なこともあるかもしれませんが、快く送り出してくれる職場の皆さんや応援してくれている家族(実は8月に新しい家族が増える予定です)のためにも、2年間の学びを一つひとつ自分のものにして成長していきたいです。そして、患者さんの笑顔を引き出し、安心して看護を任せてもらえるような看護師になりたいと思っています。

平成30年度 東北福祉看護学校 教職員



えんどう かつとし
遠藤 克寿
(精神看護学)

くらばやし けいこ
倉林 恵子
(基礎看護学)

つきはら とみこ
月原 登美子
(在宅看護論)

ささき まゆみ
佐々木 真由美
(小児看護学)

やまだ まり
山田 真里
(看護の統合と実践)

わたなべ せつこ
渡邊 節子
(学生相談)

すがわら ともこ
菅原 朋子
(老年看護学)

どうどう ゆみこ
百々 由美子
(基礎看護学)

いとう みわ
伊藤 美和
(成人看護学)

なかさと さちよ
中里 佐智代
(実習調整者・
母性看護学)

おおば のぶこ
大場 信子
(副校長)

おおたに てつ夫
大谷 哲夫
(学校長)

なかばやし としはる
中林 稔晴
(事務長)

おのでら としえ
小野寺 敏江
(教務主任・
基礎看護学)



やぎぬま あきこ
八木沼 昭子
(広報担当)

こすぎ よしみ
小杉 好美
(広報担当)

すずき みなみ
鈴木 みなみ

みうら みほこ
三浦 美穂子

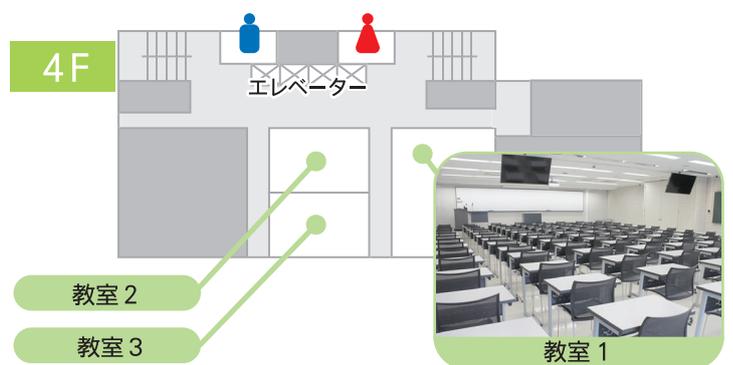
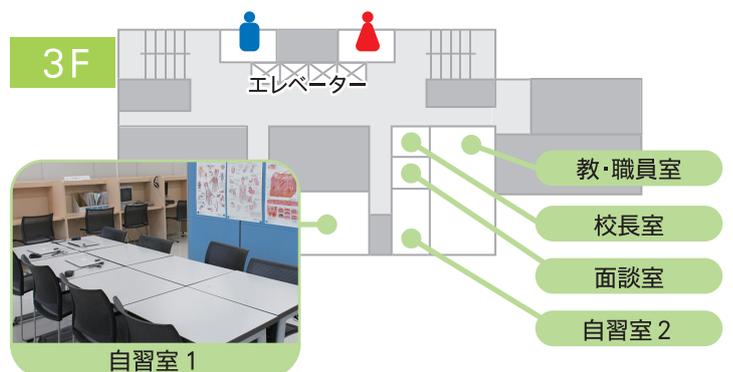
かやば ゆたか
萱場 裕
(事務長代行)

とううち としひろ
殿内 敏弘
(事務主任)

「看護師国家試験合格」という目標に向けて、教職員が皆さんをバックアップしていきます。学習のことはもちろん、教育訓練給付制度など、不安などがありましたらぜひご相談ください。

教室移転のお知らせ

4月より自習室および教・職員室が3階へ、教室が4階へ移転しました。



学校からの お知らせ掲示板

「学習支援」の予定

本校では、学生一人ひとりが、看護師国家試験の合格を目指して円滑な学習活動ができるよう、専任教員による学習支援を開催しています。内容は、レポート課題や紙上事例演習、国家試験や放送大学など学習全般に関する事です。

開催時間・・・10:00～15:00

持ち物・・・レポート課題、紙上事例など、学習する書類やテキストを持参してください。

開催日	会場	担当教員
6月5日 (火)	東北福祉看護学校	佐々木
	放送大学 青森学習センター	百々
	福島テレサ 研修室「すりかみ」	菅原
	放送大学 岩手学習センター	月原
6月12日 (火)	東北福祉看護学校	佐々木
	八戸ユートリー 5階異業種交流室	百々
	放送大学 秋田学習センター	月原
	函館市地域交流まちづくりセンター	小野寺
6月19日 (火)	東北福祉看護学校	百々
	酒田市総合文化センター 309号室	菅原
	東北福祉大学 東京サテライト	中里
6月26日 (火)	東北福祉看護学校	伊藤
	放送大学 山形学習センター	菅原
	大館市北地区コミュニティセンター	月原

* 6月の学習支援は主に1年生が対象となっていますが、2年生も参加が可能です。教員一人での対応となりますので、できるだけ予約をしてください。

放送大学のWebシステムを活用しましょう！

看護師国家試験学習支援ツール

放送大学の看護師国家試験学習支援ツールでは、

- 看護師国家試験の過去問題を解く
- 発展学習でさらに知識を深める
- 看護師国家試験対策(動画によるミニレクチャー)
- 学習結果(評点)を蓄積/レーダーチャートによる苦手分野の分析ができます。放送大学の学生番号と西暦の生年月日でログイン可能です。放送大学に在籍していない学生は、学生用アカウントがありますので、本校にお問い合わせください。

次のURLからPC・スマートフォン・タブレット端末で閲覧可能です。

放送大学
看護師国家試験学習支援ツール <https://nurse.ouj.ac.jp/>

スケジュール



1年生【学籍番号が“18”で始まる学生】

教育課程

①面接授業

- 科目：「看護過程の展開」
- 日程：講義・・・【1回目】5月1日(火)・2日(水)
【2回目】5月8日(火)・9日(水)
演習・・・【1回目】5月3日(木)・4日(金)
【2回目】5月10日(木)・11日(金)
【3回目】5月15日(火)・16日(水)
- 科目：「日常生活・診療に伴う看護技術」
- 日程：講義・・・【1回目】7月24日(火)
【2回目】7月26日(木)
- 科目：「精神看護方法」
- 日程：講義・・・【1回目】7月25日(水)
【2回目】7月27日(金)

②通信授業

- 前期レポート課題提出期限
5月11日(金)～5月25日(金)必着
- 科目：「薬理学」「日常生活の看護技術」
「診療に伴う看護技術」「精神看護方法」

③臨地実習<病院等見学実習前面接授業>

- 科目：「基礎看護学臨地実習」
- 日程：【1回目】6月29日(金)・30日(土)
【2回目】7月6日(金)・7日(土)
【3回目】7月13日(金)・14日(土)
- 会場：東北福祉看護学校
※各回2日目は《東北福祉大学 国見キャンパス》

2年生【学籍番号が“18以外”で始まる学生】

教育課程

①臨地実習オリエンテーション

- 日程：5月28日(月) 10:00～17:00

②臨地実習<病院等見学実習前面接授業>

- | | |
|---|--|
| ● 成人看護学臨地実習
【1回目】6月6日(水)
【2回目】6月13日(水)
【3回目】6月20日(水) | ● 老年看護学臨地実習
【1回目】6月7日(木)
【2回目】6月14日(木)
【3回目】6月21日(木) |
| ● 小児看護学臨地実習
【1回目】6月8日(金)
【2回目】6月15日(金)
【3回目】6月22日(金) | ● 母性看護学臨地実習
【1回目】6月10日(日)
【2回目】6月17日(日)
【3回目】6月24日(日) |
| ● 在宅看護論臨地実習
【1回目】6月9日(土)
【2回目】6月18日(月)
【3回目】6月23日(土) | ● 看護の統合臨地実習
【1回目】6月11日(月)
【2回目】6月16日(土)
【3回目】6月25日(月) |
- 会場：東北福祉看護学校
※母性看護学臨地実習のみ《東北福祉大学 国見キャンパス》

国家試験対策講座

- | | |
|---|---|
| ● 5月26日(土)
9:00～16:00
「人体の構造と機能
(消化器系、代謝・内分泌系)」
「薬理学」 | ● 5月27日(日)
9:00～16:00
「成人看護学」
「母性看護学」
「在宅看護論」
「看護の統合と実践」 |
|---|---|

